

ワンポイントサービス情報

松下電器産業株式会社
ビデオシステム事業部

件 名 A J - L T 7 5 と編集コントローラの設定

機種名 A J - L T 7 5

A J - L T 7 5 と編集コントローラを接続する場合、V T R 側とコントローラ側の設定を各々実施してください。

尚、設定表はインターネットの V S D ホームページのワンポイントサービス情報に掲載しています。

V S D ホームページのアドレス <http://www.panasonic.co.jp/vsd/japan.html>

対象コントローラ : A U - A 9 5 0
 A U - A 9 6 0
 A G - A 8 5 0
 A G - A 8 0 0
 A G - A 7 7 0
 A G - A 3 5 0
 B V E - 9 0 0 K
 B V E - 9 1 0
 B V E - 9 0 0
 B V E - 6 0 0
 F X E - 1 0 0
 B V E - 8 0 0
 P V E - 5 0 0
 R M - 4 5 0

以 上

AJ-LT75 接続時の各コントローラの設定(NTSC)

- VTR 側のセットアップメニュー設定値は注釈のない限り出荷値設定とする。
PANASONIC との接続は 200: ID SEL を DVCPR0(0001)に設定する。
SONY との接続は 200: ID SEL を OTHER(0000)に設定する。
- コントローラ設定の PREROLL TIME は「5 SEC」に設定する。

AU-A950 (Ver2.0-2054 以降), A960 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-LT75	F0	33	FF	FF	06	06	01	00	03	06	FF	00	83	00	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 06 = -67 μ m

DATA-6 (EE Delay) : 06 = -67 μ m

CONSTANT-2 DATA-6 (MODE2) : 00 = SERVO LOCK 後調相

02 = PLAY 出力後調相

AG-A850 の設定

1. 初期設定にする。

AG-A800 の設定

1. パネル側の SW1、SW2 を以下の設定にする。

	SW1								SW2							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-LT75			ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON		ON	ON	OFF	ON	OFF	ON

(表中の空白は変更しない)

2. 本体側の SW1(SW501)、SW2(SW502)を以下の設定にする。

	SW1 (SW501)								SW2 (SW502)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-LT75	OFF	ON			ON	OFF	ON									

(表中の空白は変更しない)

AG-A800 ディップスイッチに関する説明

パネル側

SW1	1	操作ミスのブザー	ON*	鳴る
			OFF	鳴らない
	2	ダイレクトサーチ	ON*	ダイレクトサーチ可
			OFF	ダイレクトサーチ不可
	3	未使用	ON に設定	
	4	レコーダの調相	ON*	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーチモードで行う
	5	プレイヤー2の調相	ON*	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーチモードで行う
	6	プレイヤー1の調相	ON*	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーチモードで行う
	7	未使用	OFF に設定	
	8	編集グレート	ON*	リトライを2回行い、失敗すれば編集中止
			OFF	リトライなし、失敗すれば編集中止

SW2	1	コントロール	ON*	ON
			OFF	OFF
	2	GPI3 切替タイミング	ON*	AUDIO 編集点
			OFF	KEY 出力点
	3	編集タイミング オート選択	この設定は SW2-4 が OFF でのみ有効	
			ON	VTR の ID が “ 1000 ” の場合、編集タイミングは本体側 SW501-5, 6, 7 に従う
			OFF*	VTR の ID が “ 1000 ” の場合、編集タイミングは-1フレームに設定
	4	編集タイミング オート選択	ON	編集タイミングは本体側 SW501-5, 6, 7 に従う
			OFF*	編集タイミングは VTR の ID により自動的に設定
	5	未使用	OFF に設定	
	6	未使用	ON に設定	
	7	ホールド時間	秒	0.5 1* 2 3
	8		SW2-7	OFF OFF ON ON
			SW2-8	OFF ON OFF ON

本体側

SW1 (SW501)	1	未使用	OFF に設定									
	2	ユニットの作動	ON*	ON								
			OFF	OFF								
	3	スイッチ選択		-		AG-SW800*		KM3000		GVG100		
	4		SW1-3	OFF		OFF		ON		ON		
			SW1-4	OFF		ON		OFF		ON		
	5	編集タイミング*	フレーム	-1	-2	-3	-4	-5*	-6	-7	-8	
	6		SW1-5	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	
	7		SW1-6	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	
			SW1-7	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	
8	PC 通信タイムアウト	ON	約 3 秒以内にデータを受信しないと通信を終了する									
		OFF*	タイムアウトしない									
SW2 (SW502)	RS232C 内容											
	1	通信データ長	ON	7ビット								
			OFF*	8ビット								
	2	STOPビット	ON*	2								
			OFF	1								
	3	PARITY	ON	ON								
			OFF*	OFF								
	4	ODD/EVEN	ON	EVEN								
			OFF*	ODD								
	5	ファイルエント* 処理	ON*	CR, LF, ^Z 出力								
			OFF	^Z 出力								
	6	BAUD RATE		110	300	600	1200	2400	4800	9600*	19200	
	7		SW2-6	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	
	8		SW2-7	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	
SW2-8			ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF		

AG-A770 の設定

1. パネル側の SW1、SW2 を以下の設定にする。

	SW1								SW2							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-LT75								ON				ON				

(表中の空白は OFF)

2. 本体側の SW1(SW501)、SW2(SW502)を以下の設定にする。

	SW1 (SW501)								SW2 (SW502)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-LT75					ON		ON									

(表中の空白は OFF)

SW1-5 ~ SW1-7 : 9P 編集タイミング

SW1-5	ON	} = -6フレーム
SW1-6	OFF	
SW1-7	ON	

AG-A770 (Ver2.2) ディップスイッチに関する説明

パネル側

SW1	1	ブザー音の有無	ON	鳴らない
			OFF	鳴る
	2	未使用		
	3	未使用		
	4	調相動作選択スイッチ	ON	CAP OVERRIDE で行う
			OFF	サーモードで行う
	5	ブローリール時間	ON	3 秒
			OFF	5 秒
	6	ホストリール時間	ON	1 秒
			OFF	2 秒
	7	調相の有無	この SW が ON に設定された場合、SW1-8 の設定は無効	
			ON	調相を行わない
			OFF	調相を行う
	8	編集グレード	ON	リトライを 2 回行い、失敗すれば編集中止
			OFF	リトライなし、失敗しても編集実行

SW2	1	未使用		
	2	D3シャトルモード	ON	SHTL × -1 ~ ×+2 の範囲は VAR に切り替え
			OFF	切り替えない
	3	編集タイミング オート選択		この設定は SW2-4 が OFF でのみ有効
			ON	VTR の ID が “ 1000 ” の場合、編集タイミング は本体側 SW501-5, 6, 7 に従う
			OFF	VTR の ID が “ 1000 ” の場合、編集タイミング は-1フレームに設定
	4	編集タイミング オート選択	ON	編集タイミング は本体側 SW501-5, 6, 7 に従う
			OFF	編集タイミング は VTR の ID により自動的に設定
	5	TC 読み込みモード	ON	LTC のみ
			OFF	VITC または LTC
	6	DF/NDF 設定	ON	DF
			OFF	NDF
	7	カラーフレーム編集の選択	ON	カラーフレーム編集を行う（ただし、VTR SETTING）
			OFF	カラーフレーム編集を行わない
	8	マルチイベントの ON/OFF	ON	シングルイベント固定
			OFF	EVENTキーにより、シングルイベントからマルチイベントに切り替え可能

本体側

SW1 (SW501)	1	NTSC/PAL 切り替え	ON	PAL									
			OFF	NTSC									
	2	34P IN 点-1フレーム	34Pインターフェイスボードの VIDEO OUT 端子を使用して、映像を確認する場合、映像の実際の TC と表示されている TC の 1フレームのずれを補正する。MARK-IN, OUTキーや GOTOキーを使用する場合に、この設定が有効。										
			ON	補正を行う									
			OFF	補正を行わない									
	3	未使用											
	4	未使用											
	5	編集タイミング	フレーム	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8		
	6		SW1-5	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON		
	7		SW1-6	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON		
	SW1-7		OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON			
	8	未使用											
SW2 (SW502)	1	未使用											
	2	未使用											
	3	未使用											
	4	未使用											
	5	未使用											
	6	未使用											
	7	未使用											
	8	未使用											

AG-A350 の設定

1. AG-A350 の DIPSW を以下の設定にする .

	SW1						SW2					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
AJ-LT75				ON			OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON

(表中の空白は変更しない)

AG-A350 デイプスイッチに関する説明

			OFF	ON	出荷設定	
S W 1	1	CTL DISPLAY （ CTLカウンタ表示 ）	± 12H		24H	ON
	2	PLAYER EDIT REFERENCE （ PLAYER 側のカウンタモード ）	TC		CTL	ON
	3	RECORDER EDIT REFERENCE （ RECORDER 側のカウンタモード ）	TC		CTL	ON
	4	SYCRO VTR （ 調相制御 ）	PLAYER		RECORDER	OFF
	5	CAP OVERRIDE （ 調相 ， カラーフレーミング* の選択 ）	SW1-5 SW1-6			ON
	6		OFF OFF NOT SYNCHRO（ 調相なし ） ON OFF FRAMING（ フレーミング* ， 調相あり ） OFF ON COLOR FRAMING（ カラーフレーミング* ， 調相あり ） ON ON VTR SYNCHRO（ VTR 側の設定 ， 調相あり ）			OFF
S W 2	1	PREROLL TIME （ PREROLL 時間の設定 ）	SW2-1 SW2-2			ON
	2		OFF OFF 10sec ON OFF 7sec OFF ON 5sec ON ON 3sec			OFF
	3	EDIT TIMING （ 編集タイミング* の設定 ）	SW2-3 SW2-4			OFF
	4		OFF OFF -8 frames ON OFF -7 frames OFF ON -6 frames ON ON -5 frames			OFF
	5	AUDIO CH2 （ 編集モード AUDIO2 の設定 ）	AUDIO		TC	OFF
	6	SIGNAL STANDARD （ フレーム数 ）	25F（ PAL ）		30F（ NTSC ）	ON

BVE-900K, BVE-910 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-LT75	20	25	00	96	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	81	3D	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 08 = -67フレーム

DATA-6 (EE Delay) : 08 = -67フレーム

DATA-8 (Trajectory) : 上位バイト "8" = CUE UP WITH DATA による CUE UP

TC SOURCE = LTC:VITC+

CF REF = TIME CODE

BVE-900 (Ver1.04) の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-LT75	20	25	00	96	08	08	0A	0F	0C	07	FB	00	81	3D	10

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-5 (Edit Delay) : 08 = -67フレーム

DATA-6 (EE Delay) : 08 = -67フレーム

DATA-7 (Overrun) : PREROLL 停止時に、テープが指定の PREROLL 点を過ぎて余分に走る時間の補正

DATA-8 (Trajectory) : PREROLL 時の最適な弾道カーブを規定

CONSTANT-2 DATA-7 (PREROLL Speed) : 10 = SHUTTLE × 16

TC SOURCE = LTC+

- * BVE-900 Ver1.12, Ver1.10, Ver1.09, Ver1.06 は BVE-900K と同じ設定にする。(CUE UP WITH DATA による CUE UP が可能)
- * CONSTANT-1 DATA-7, 8 及び CONSTANT-2 DATA-7 を上記設定にすると、CUE UP 動作はスムーズになるが遅くなる。

BVE-600 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER、PLAYER とともに以下の設定にする。

	BLOCK-1								BLOCK-2						
	BYTE								BYTE						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-LT75	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	07	FB	00	81	3D	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

BLOCK-1 BYTE-5 (Edit Delay) : 08 = -67フレーム

BYTE-6 (EE Delay) : 08 = -67フレーム

BYTE-8 (Trajectory) : 上位バイト "8" = CUE UP WITH DATA による CUE UP

FXE-100 の設定

1. PLAYER の VTR デバイス定数 (セットアップメニュー項目 401 および 402) を "DISABLE" に設定する。(ユーザー設定値が無効になり、内蔵の定数を使用。)
2. RECORDER の VTR デバイス定数 (セットアップメニュー項目 403) を "ENABLE" にし、以下の設定にする。

	BYTE														
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
AJ-LT75	FF	FF	00	5A	08	08	03	84	0A	08	FB	00	80	2E	FF

(表中の網掛け部は出荷時設定からの変更項目)

BYTE-05 (Edit Delay) : 08 = -67フレーム

BYTE-06 (EE Delay) : 08 = -67フレーム

BYTE-13 (MODE DATA1) : CF ON 時 NTSC 81 = 4F LOCK

PAL 83 = 8F LOCK

BYTE-14 (MODE DATA2) : VTR からの CFステータス有効時 2F

VTR からの CFステータス無効時 2E

VTRデバイス定数について

BVE-600 / BVE-900 / BVE-900K / FXE-100

BLOCK	BYTE	項目	内容
1	1	Device Type	VTR のタイプを設定。
	2		
	3	Min Preroll Time	VTR が必要とする最小限のプリロール時間を設定。
	4		
	5	Edit Delay	VTR に RECOMMAND が送出されてから、実際に記録が始まるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	6	EE Delay	VTR に PB/EEコントロールコマンドが送出されてから、実際に VTR が PREVIEWモードになるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
2	7	Overrun	プリロール停止時、テープがプリロール点を過ぎて余分に走る時間を補正。(フレーム単位)
	8	Trajectory Const	プリロール時の最適な弾道カーブを規定。(収束の悪い VTR ほど大きな値をとる。) 上位バイト "8" = CUE UP WITH DATA による CUE UP ¹
	1	TC Read Delay	テープが走り出してから、実際にタイムコードの読み取りが始まるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	2	Start Delay	VTR に走行コマンドが送出されてから、実際に VTR が立ち上がるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	3	After-Sync Delay -	調相が完了して PLAY 走行に移行するとき、低速方向から正しい位置にサボロックするのに最適なコマンド遅延時間を設定。(フレーム単位)
	4	After-Sync Delay +	調相が完了して PLAY 走行に移行するとき、高速方向から正しい位置にサボロックするのに最適なコマンド遅延時間を設定。(フレーム単位)
	5	Max Framing CTL Interpolation	BIT1 ~ 7 : VTR が方式的に意味を持つ最大のフレームングを設定。 0 = 2F LOCK 1 = 4F LOCK 2 = 8F LOCK システム設定パルの SYNCHRONIZEスイッチの設定に関わらず、ここで指定したフレームング以下で該当する VTR をコントロールする。 BIT8 : 1 = タイムコードの CTL 補間が可能 0 = 不可能
	6	CF Status Enable Max Frame Lock Time	BIT1 : 1 = VTR からの CFステータス有効 0 = 無効 BIT2 ~ 8 : VTR がフレームロックするまでの最大時間を設定。(フレーム単位)
	7	Preroll Speed	プリロール (CUE UP) を行うときの、SHUTTLE の最高速度を倍速で設定。 FF = FF/REWモードでコントロール

¹ BVE-900(Ver1.04)では、CUE UP WITH DATA による CUE UP はできない。

BVE-800 の設定

1. RECORDER の 9PIN INTERFACE BOARD 上の SW1、SW2、SW3 を以下の設定にする。

	SW1		SW2								SW3							
	P/R 設定		編集タイミング								PLAYタイミング							
	RECORDER		-6フレーム								-5フレーム							
	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-LT75	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON			ON		OFF	ON	OFF	ON		ON		

(表中の空白は変更しない)

2. PLAYER の 9PIN INTERFACE BOARD 上の SW1、SW2、SW3 を以下の設定にする。

	SW1		SW2								SW3							
	P/R 設定		編集タイミング								PLAYタイミング							
	PLAYER		-6フレーム								-10フレーム							
	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-LT75	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON			ON		ON	OFF	ON	OFF		ON		

(表中の空白は変更しない)

SW2-7 (タイムコード不連続処理) : ON = CTL 補正をしない

SW3-6 (調相精度) : ON = ±0フレーム

- * CUE UP 動作において、コントローラよりサーチコマンドで制御される為、約 6 フレーム行きすぎる。

9P INTERFACE BOARD (BK-809) のスイッチ設定について

SW1 : PLAYER1/2/RECORDER 設定スイッチ

VTR の使用目的	SW1	
	1	2
RECORDER	ON	
PLAYER1		ON
PLAYER2		

(表中の空白は OFF)

SW2-1 ~ 4 : 編集コマンド タイミング スイッチ

		編集コマンド の出力タイミング (フレーム)															
		-1*	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	-9	-10	-11	-12	-13	-14	-15	-16
SW2	1	ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON	
	2	ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON		
	3	ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON				
	4	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON								

*工場出荷値

(表中の空白は OFF)

SW2-6 : CUE UP の選択 (本体 MP-17 基板の P-ROM (IC96 ~ 102) が Version-3 以降の場合)

ON = SEARCHE-ド による CUE UP

OFF = FF/REW (1sec 以上) + SEARCH (1sec 以内) による CUE UP

SW2-7 : タイムコード 不連続処理 (本体 MP-17 基板の P-ROM (IC96 ~ 102) が Version-2 以降の場合)

ON = 不連続処理をしない。

OFF = 不連続処理を行う。(IN 点からの PREROLL、および、調相に CTL を用いる。)

SW2-8 : 9P INTERFACE BOARD (BK-807) では未使用

SW3-1 ~ 4 : PLAYコマンド タイミング スイッチ

		PLAYコマンド の出力タイミング (フレーム)															
		0	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7*	-8	-9	-10	-11	-12	-13	-14	-15
SW3	1	ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON	
	2	ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON		
	3	ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON				
	4	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON								

*工場出荷値

(表中の空白は OFF)

PLAYコマンド出力タイミングの設定方法

1. ビデオ信号が連続して記録されているテープ（1分程度）を各VTRに入れる。
2. EDIT NUMBER を 900 にセット。（“EDIT#”キーを押しながら“9”，“0”，“0”と押す。）
3. “PREVIEW”キーを押す。PREVIEWモードで走行し、自動的に停止し、PREVIEWランプが消灯すると、同時にタイムカウンタに数値が出る。²
4. この数値を、前表のフレーム数として、SW3-1～4を設定する。

SW3-6 : 調相精度

ON = ± 0 フレーム

OFF = ± 1 フレーム

SW3-7 : 9P INTERFACE BOARD (BK-807) では未使用

SW3-8 : カラーフレーミングスイッチ

ON = SYNCHRONIZEスイッチOFF の位置においても、CF 編集を行う。

OFF = SYNCHRONIZEスイッチOFF の位置においては、CF 編集を行わない。

² AJ-LT75 を RECORDER にする場合、EDIT PRESET を選択した状態で行う。

PVE-500 の設定

1. PVE-500 側 SETUP-11 : ED DELAY (編集 Delay) = 6F (6 フレーム) に設定する.
SETUP(ENTRY + EDIT)ボタンを押す.
PLAYER サーチダイヤルを回し, “ SETUP-11 ” を表示させる.
RECORDER サーチダイヤルを回し, “ 6F ” に設定する.
STORE(ENTRY + REC)ボタンを押す.
もう一度, SETUP(ENTRY + EDIT)ボタンを押しセットアップモードを終了する.

RM-450 の設定

1. RM-450 側 SYSTEM RESET スイッチを以下の設定にする.

左側

番号	7	6	5	4	3	2	1	0
SW 設定	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

右側

番号	7	6	5	4	3	2	1	0
SW 設定	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF

2. EDIT モードを選択後, PLAYER と RECORDER 両方に記録済みテープを入れ, LEARN ボタンを押す.

* 調相リトライすることがある。